

鹿児島県

モデル圏域 鹿児島圏域

長期入院精神障害者の地域移行 推進に向けて

鹿児島圏域では、平成26年から圏域の精神障害者の地域移行・地域定着支援に係る関係者の意識向上等を図ることを目的に、鹿児島・日置地区障害者地域連絡協議会の部会として年に1回、精神障害者地域移行・地域定着推進会議を開催し、管内精神科病院の現状報告、ピアサポーターによる講話等を実施している。

平成30年度は、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業」を活用し、一般相談支援事業所と共に、ピアサポーターの活用による地域移行支援、精神科病院職員に対する研修等を行い、精神障害者のより一層の地域移行を促進する。

1 平成30年度の達成目標と現時点での進捗状況

平成30年度の達成目標	現時点での進捗状況
1. ピアサポーターの養成・活用	<ul style="list-style-type: none"> ① ピアサポーター養成講座の実施(平成30年7月15日・16日)56名修了 ② 修了者のうち, 指定一般相談支援事業所で活動するピアサポーターの面接を20名が受験し, 5名を採用 ③ 1精神科病院で, ピアサポーターによる体験談発表を実施(平成30年9月28日) ④ 11月までには, 10精神科病院で, ピアサポーターによる体験談発表を実施予定
2. 精神障害者の地域移行支援に関する研修の開催	<ul style="list-style-type: none"> ① 平成31年2月に実施予定
3. 鹿児島圏域における地域移行支援利用者目標値 73人	<ul style="list-style-type: none"> ① ピアサポーターを活用した地域移行支援(個別給付)を2件実施中, 今後も利用希望があり次第, 実施予定

2 圏域の取組における強みと課題

【特徴(強み)】

- 1 地域移行支援に積極的に取り組む意欲のある相談支援事業所に業務委託し、ピアサポーターを活用した地域移行支援を実施
- 2 10か所の精神科病院が、ピアサポーターの受け入れなど事業に協力
- 3 県精神保健福祉士協会が地域移行の研修や退院後生活環境相談員の質の向上に積極的に取り組むなど協力的

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する視点別の認識(取組)	
地域移行支援に積極的に取り組む相談支援事業所が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーター養成講座の実施 ・ピアサポーターを活用した長期入院精神障害者の地域移行支援 ・事業における成功事例を活用した相談支援事業所に対する普及・啓発 	行政	精神科病院等関係機関との調整, 相談支援事業所を対象とした研修会の実施 等
		精神科病院	ピアサポーターの受入, 退院希望者リストの情報提供, 協議の場への参加 等
		相談支援事業所	ピアサポーターの派遣・同行, 住居や障害福祉サービスの調整, 協議の場への参加, 研修会への協力 等
精神科病院, 相談支援事業所, 保健所の三者による地域移行へ向けた連携が十分といえない	<ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療・福祉関係者による協議の場の開催(毎月の戦略チーム会議の実施) 	行政	関係機関との調整, 地域課題の整理・分析 等
		精神科病院	地域移行支援の個別事案の分析, 検討 等
		相談支援事業所	関係機関との調整, 地域移行支援の個別事案の分析, 検討 等

課題解決の達成度を測る指標	指標の設定理由	現状値 (第1回会議時)	現状値 (今回)	目標値(H30)
①精神病床における1年以上長期入院患者数(人)	平成30年度からの障害福祉計画, 保健医療計画, 介護保険事業(支援)計画に共通のアウトカム指標(成果目標)であるため	2,080	2,080	2,007
②平成32年度末までに, 全ての市町村ごとに保健・医療・福祉関係者による協議の場を設置(力所)		1	1	3

3 病院（医療機関）との連携状況

- 県精神科病院協会と連携し、圏域内の各精神科病院の院長，看護部長及び精神保健福祉士を対象とした事業説明会を実施し，17病院49名が参加
- 上記17病院のうち，10病院が事業に参加（ピアサポーター体験談発表，ピアサポーターを活用した地域移行支援（個別給付）の受入れ）
- 10病院の実務担当者と指定一般相談支援事業所（ピアサポーター），保健所及び障害福祉課による「戦略チーム会議」を9月から実施（月1回）
- 「戦略チーム会議（全体会）」において，事業の振り返り，今後のスケジュール等について，全員で共有する。
- 「戦略チーム会議（個別検討会）」において，個別ケースの課題等について，より具体的に検討する。
- 10病院から，「退院支援利用候補者リスト」（優先順位付き）の提供を受け，ピアサポーターを活用した地域移行支援に活用
- 地域移行支援制度のポスターを作成し，県下精神科病院（長期入院精神障害者がいない病院を除く）に送付，病棟への貼付を依頼（精神科病院実地審査・実地指導において確認を行う。）

4 現時点での課題・悩み

- ピアサポーター養成講座修了者（56名）のうち、指定一般相談支援事業所で活動を希望する者は20名いたが、実際に採用に至ったのは5名であった。今後は、ピアサポーターの受け皿の拡大を図る必要性があることから、指定一般相談支援事業所に対する研修会等においてピアサポーター雇用意欲の醸成をどのように図るか。
- 地域移行支援申請者が多数となった場合、現在、事業を委託している指定一般相談支援事業所（1事業所）では、支援できる人数に限りがあるため、他の相談支援事業所との連携をいかに図るか。
- 精神障害者の住まいの場の確保について、居住支援協議会や居住支援法人との連携以外に、効果的な方策を実施されている自治体があればご教示いただきたい。